

平成 26 年度  
平成 28 年度  
平成 30 年度  
令和 2 年度

新規採択  
第1回計画変更  
第2回計画変更  
第3回計画変更

# 県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

## 中山間地域総合整備事業 (農業用排水施設整備)

県 名 岐 阜 県  
地 区 名 瑞 浪 中 部  
事 業 主 体 岐 阜 県

目 次

第1章	目 的	1	第3節	用水計画	26
第2章	地域及び地積	1		1. 計画基準年	26
第1節	地 域	1		2. 計画かんがい方式	26
第2節	地 積	1		3. 計画用水系統	26
第3章	現 況	2		4. 計画用水量	27
第1節	気象及び海象	2	第4節	5. 水源計画	28
	1. 一般気象	2		排水計画	30
	2. 特殊気象	2		1. 計画基準雨量	30
	3. 海 象	3		2. 計画排水方式	30
第2節	土地状況	3		3. 計画排水系統	30
	1. 土地、土壌及び侵食の程度	3		4. 計画排水量	31
	2. 土地分類	5	第5節	5. 排水対策	31
	3. 土地利用の状況	6		6. 湛水検討	32
	4. 土地所有の状況	7	第6節	道路計画	33
第3節	水利状況	8		1. 道路及び索道	33
	1. 用水状況	8		2. 路線配置図	34
	2. 排水状況	11	第7節	農用地造成計画	34
	3. 河川状況	14		1. 農用地造成計画	34
第4節	道路現況	15		2. 土壌改良	35
	1. 道路概況	15		洪水調節計画	35
	2. 主要道路一覧表	15		1. 計画基準雨量	35
第5節	地域農業の概況	16		2. 計画洪水量及び調節量	35
	1. 産業別就業人口	16		3. 貯水池	35
	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況	17		4. 洪水調節検討	36
	並びに専兼業別農家数	17	第8節	5. 管理計画	36
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	17		干拓計画	36
	4. 主要作物作付状況	18	第9節	農用地整備計画	37
	5. 農業の動向	19		1. 区画整理	37
第6節	地域環境の概況	19		2. 暗渠排水	37
第4章	一般計画	20		3. 客 土	38
第1節	事業計画の要旨	20		4. 農地保全	38
	1. 要 旨	20	第10節	老朽ため池改修計画	39
	2. 事業別面積	20		1. 洪水吐改修計画	39
第2節	営農計画及び土地利用計画	21		2. 堤体補強計画	39
	1. 営農計画の概要	21		3. 取水施設改修計画	39
	2. 土地利用区分	21	第5章	主要工事計画	39
	3. 作付方式	22	第1節	用水施設	39
	4. 生産計画	23		1. 貯水池	39
	5. 労働改善計画	24		2. 頭首工	40
	6. 級地別土地利用区分	25		3. 揚水機	40
	7. 土地配分計画	25		4. 用水路	41
				5. その他かんがい施設	41

## 目 次

第2節	排水施設 -----	41
	1. 排水水門 -----	41
	2. 排水機 -----	42
	3. 排水路 -----	42
	4. その他排水施設 -----	42
第3節	道路及び索道 -----	43
	1. 道路 -----	43
	2. 索道 -----	44
第4節	農用地造成 -----	44
	1. 農用地造成 -----	44
	2. 土壌改良 -----	45
第5節	洪水調節施設 -----	45
	1. 貯水池 -----	45
	2. 頭首工及び導水施設 -----	45
第6節	干拓施設 -----	46
	1. 堤防 -----	46
	2. 潮止め -----	46
	3. 付属施設 -----	46
	4. 埋立 -----	47
第7節	農用地整備施設 -----	47
	1. 区画整理 -----	47
	2. 暗渠排水 -----	47
	3. 客土 -----	48
	4. 除礫 -----	48
	5. 農地保全 -----	48
第8節	老朽ため池改修施設 -----	49
	1. 貯水池 -----	49
	2. 堤体補強施設 -----	49
第6章	附帯工事計画 -----	49
第7章	工事の着手及び完了の予定時期 -----	50
第8章	環境との調和への配慮 -----	50

第9章	換地計画の概要 -----	50
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方 -----	50
第2節	換地区の設定 -----	50
	1. 換地区の名称、所在、面積 -----	50
	2. 換地区を設定する理由 -----	50
第3節	換地計画樹立の基本方針 -----	50
	1. 従前の土地の面積の基準 -----	50
	2. 用途別予定地積 -----	51
	3. 農用地集団化の方針 -----	52
	4. 非農用地の換地方法 -----	52
第4節	土地の評価法及び精算の方法 -----	52
	1. 評価の方法 -----	52
	2. 精算の方法 -----	52
第5節	換地計画樹立の年度計画 -----	52
第6節	換地処分 of 時期に関する特則 -----	52
第10章	事業費の総額及び内訳 -----	53
第11章	効用 -----	54
第12章	関連する事業 -----	54
第13章	現況・計画図面 -----	54

# 第1章 目的

地区内各所のほ場整備地内に送水する各用水路線において老朽化が進行しており、安定した用水供給への支障、維持管理の増大により、組織営農活動に支障をもたらしている。

このため、各水路の更新整備を行い安定した用水供給体制の確保による営農発展を図る。

# 第2章 地域及び地積

## 第1節 地域

(第1表)

事業名	地域	備考
農業用排水施設整備	岐阜県 瑞浪市	

## 第2節 地積

R 4年 10月現在 (第2表)

事業名	現況地目	田	畑		小計	山林	原野	池沼	道水路敷	非農用地	計	備考
	市町村名	ha	ha		ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
農業用排水施設整備	瑞浪市	(50.1) 48.9			(50.1) 48.9						(50.1) 48.9	
	計	(50.1) 48.9			(50.1) 48.9						(50.1) 48.9	
合計		(50.1) 48.9			(50.1) 48.9						(50.1) 48.9	

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む)。なお、換地計画を伴う事業は実測(図上)。単位は営農事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営農事業の場合、小数点以下2位四捨五入。  
2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)。

### 第3章 現 況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	恵 那	灌 漑 期 間	非 灌 漑 期 間	計 又 は 平 均	備 考
観測期間	S56年～H22年	5月～10月	11月～4月		
平均気温		20.5℃	5.4℃	13.0℃	参照：気象庁HP
降水量	平均	1,219.0mm	549.1mm	1,768.1mm	参照：気象庁HP
	基準年	mm	mm	mm	
降水日数	平均	74日	56日	130日	参照：気象庁HP
	基準年	日	日	日	
根雪期間		月 日～ 月 日 ( 日間)			
無霜期間		月 日～ 月 日 ( 日間)			
最多風向		最大風速 (m/s)			発生時期 発生年月日

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名		第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
恵 那		数量	年月日	発生確率													
観測期間		数量	年月日	発生確率													
S51年～H25年																	
最大日雨量	(mm)	207	S58.9.28	1/33	195	H1.9.3	1/23	193	S51.5.25	1/22	179	H12.9.11	1/15	177	H23.9.20	1/14	参照：気象庁HP
最大時間雨量	(mm)	77	H17.8.5		75	S63.6.27		61	S63.9.25		53	H22.8.6		51	H1.9.20		参照：気象庁HP
最大4時間雨量	(mm)																
最大連続雨量	(mm)																
最大連続旱天日数	(日)																

3. 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備考
観測期間	年～年	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
実測値									

注) 「海象」は海に排水する計画の場合。

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高		備考		
		1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計		最高(m)	最低(m)
		以下	～1/100	～1/20	～1/11.5	～以上				8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農業用排水施設整備	面積 (ha)			(36.2) 35.0	9.8	4.1	(50.1) 48.9									440	169	
	比率 (%)			72	20	8	100											
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合計	面積 (ha)			(36.2) 35.0	9.8	4.1	(50.1) 48.9											
	比率 (%)			72	20	8	100											

注) 「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が8°～15°の場合8°～10°、10°～15°に区分。既耕地を対象とする事業は8°～15°。

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)				備 考	
	土 壤 断 面								堆積様式	母材	事 業 名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性			70cm層 黒泥層 グライ層			農業用 排水 施設整備			合計
					表土 一層	下層 二層	層土 三層							
宝田統	灰色 灰色	無	無	有	CL	CL	CL	無	水積	非固結 水成岩	12.3		12.3	F51
栢山統	灰褐 砂礫層	無	30cm以 内	有	SCL	SCL	砂礫	無	水積	非固結 水成岩	12.6		12.6	J90
千年統	灰色 灰色	無	無	有	SCL	CL	CL	30~60cm以下 グライ層	水積	非固結 水成岩	(16.0) 14.8		(16.0) 14.8	E42
善通寺統	灰褐 灰褐	表層	無	有	SCL	SL	SL	無	水積	非固結 水成岩	1.8		1.8	G63
田川統	青灰 灰色	無	無	有	SiC	SiC	礫	作土より グライ層	水積	非固結 水成岩	3.3		3.3	D31
蓼沼統	灰色 黄褐	無	無	有	LiC	HC	-	無	残積	非固結 水成岩	4.1		4.1	I80
計											(50.1) 48.9		(50.1) 48.9	

注) 「土壤統(区)名」欄は水田にあっては施肥改善事業における土壤区、畑・未墾地にあっては地力保全事業における土壤統。

## 該 当 な し

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度			ガ リ 侵 食 の 程 度		備 考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm 未満	3mm~ 5mm	5mm 以上	中程度のもの	
	面積 (ha)										
	比率 (%)										

2. 土地分類 該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成											計 (ha)	備 考
	1 級 地 (ha)	2 級 地				3 級 地				4 級 地			
		※ (ha)	3° ~ 8° (ha)	8° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	※ (ha)	15° ~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
計													

該当なし

(第4表-2-2)

級位別 市町村名	干 拓				計 (ha)	備 考
	1 級 地 (ha)	2 級 地 (ha)	3 級 地 (ha)	4 級 地 (ha)		
計						

3. 土地利用の状況

事業名	土地利用別 市町村別	耕地							山林		
		水田		普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	茶園 (ha)	その他地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)
		1毛作田 (ha)	2毛作田以上 (ha)								
農業用排水施設整備	瑞浪市	(50.1) 47.6		(-) 1.3							
合計		(50.1) 47.6		1.3							

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

H 4 年 10 月現在 (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	牧草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農業用排水施設整備						
合計					(50.1) 48.9	

## 4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別		個人有	法人あり	計	備考
	区分					
農業用水	面積 (ha)	(50.1) 48.8		0.1	(50.1) 48.9	
	関係戸数 (戸)	(238) 183			(238) 183	
	筆数 (筆)					
	権利関係					
	備考 (受益者数)	(238) 183			(238) 183	
	面積 (ha)					
	関係戸数 (戸)					
	筆数 (筆)					
	権利関係					
	備考 (受益者数)					
合計	面積 (ha)	(50.1) 48.8		0.1	(50.1) 48.9	
	関係戸数 (戸)	(238) 183			(238) 183	
	筆数 (筆)					
	権利関係					
	備考 (受益者数)	(238) 183			(238) 183	

注) 「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第3節 水利状況

1. 用水状況

本地区の用水路は、未整備の土羽水路や老朽化した幹線水路が存在しており、水路の洗掘、摩耗、側壁傾斜、不同沈下による水路敷きのズレなどが発生している。このため、漏水の発生を主とした用水の安定送水に支障を来しているほか、維持管理面においても労力を要しているため、早期の改修、補修対策の実施が必要とされている。

(1) 用水系統 別紙用水系統図参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

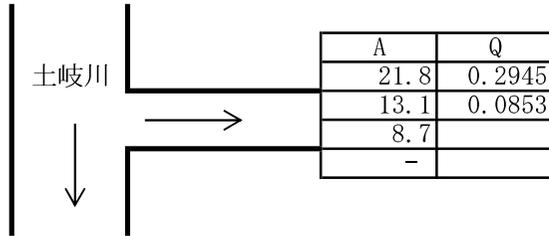
(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		500ha以上		500ha～100ha		100ha未満		(箇所)	(ha)	(箇所)	(m <sup>3</sup> /s)	(箇所)	(m <sup>3</sup> /s)	(m <sup>3</sup> /s)	
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)								
農業用排水施設整備	貯水池														
	井堰					7	(42.7) 41.5	7	(42.7) 41.5						
	自然取水口														
	揚水機														
	その他														
	計					7	(42.7) 41.5	7	(42.7) 41.5						
	貯水池														
	井堰														
	自然取水口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合計						7	(42.7) 41.5	7	(42.7) 41.5						

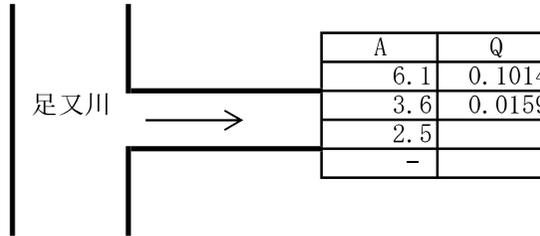
注) 「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。「かんがい面積」欄の( )書きは面積の重複するもの。「延取水量」欄は平均取水量の合計。

現況用水系統図

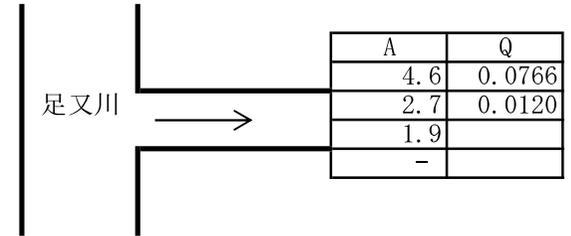
三用水



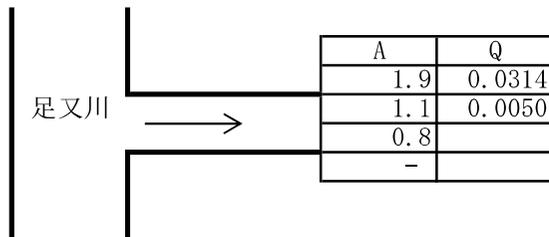
足又用水



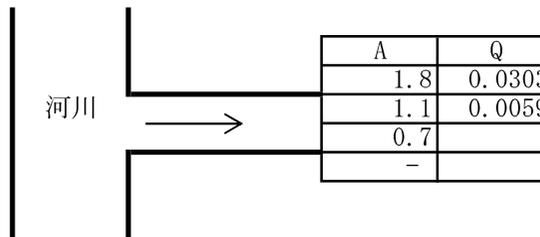
下足又用水



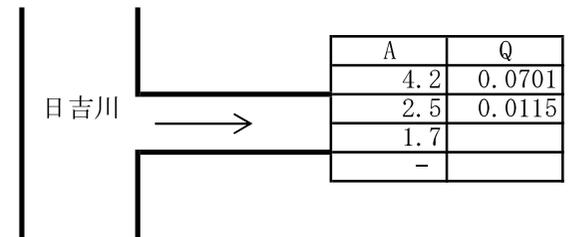
八瀬沢用水



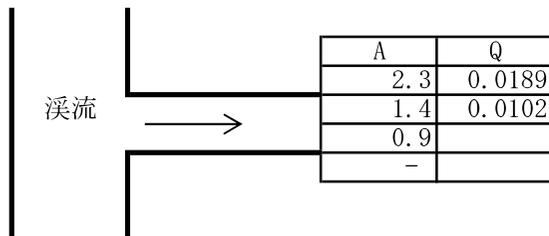
柄石用水



月吉第2号用水



田高戸用水



A:面積 (ha)	Q:用水量 (m <sup>3</sup> /s)
全体	代掻期
水田	普通期
輪換畑	
畑	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備考
農業用排水施設整備	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路	7	(42.7) 41.5		(4,874) 4,769 m		老朽化	
	その他							
	計	7	(42.7) 41.5					
	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計		7	(42.7) 41.5					

注) 「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。用水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位m)。

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量 (t)	備考
				かんがい期 最大不足水量		かんがい期 総不足水量			
				平均 (m <sup>3</sup> /s)	基準年 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )		
	計								
	計								
	合計								

注) 団体営事業の場合の「不足水量」欄は基準年。「平均減産量」、「平均維持管理費」欄は記入の要なし。

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (°C)		水質 (pH)等	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

注) 水温、水質の不良等に基づく被害がある場合。

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考	
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
	合計											

注) 土砂崩壊は「土砂崩壊の場合の想定被害状況」。

2. 排水状況

本地区の排水路は、斜面上に形成されたほ場の排水路であり、整備後の経年変化に伴い不同沈下による縦断勾配の不整状態、落差工部などの急勾配区間における跳水等が発生している。

(1) 排水系統 別紙排水系統図参照

(2) 排水施設  
(ア) 排水方法一覧表

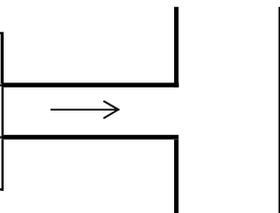
(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			500ha以上		500ha~100ha		100ha未満						
			(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)			
農業用排水施設整備	自然	排水路					2	7.4	2	7.4	不明	不明	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						2	7.4	2	7.4			
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合計						2	7.4	2	7.4				

現況排水系統図

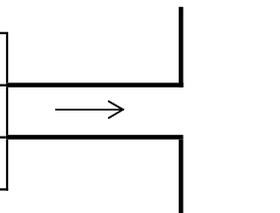
中洞排水

面積 (ha)	68.6
排水量1/2 (m <sup>3</sup> /s)	2.671
排水量1/10 (m <sup>3</sup> /s)	4.292



大牧排水

面積 (ha)	10.9
排水量1/2 (m <sup>3</sup> /s)	0.360
排水量1/10 (m <sup>3</sup> /s)	0.578



(イ) 改修要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又 箇所 は 数	受益面積  (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
農業用排水施設整備	自然	排水路	2	7.4		(776) 815 m		老朽化	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び 排水機							
		排水路及び 排水機							
	計		2	7.4					
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び 排水機							
		排水路及び 排水機							
	計								
合計		2	7.4						

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田 (ha)		畑 (ha)		その他 (ha)		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
計			平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川の現況 該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 ( $m^3/s$ )	既往最大洪水量 ( $m^3/s$ )	備考

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

該当なし

(別紙現況道路配置図参照) ..... 注) 地区内及び地区外ともBは全幅 ( ) は有効幅員 ( 0.1 m単位)。

2. 主要道路一覧表 該当なし

(第6表)

NO.	路線名	管理 区分別	延長 (km)	幅員 (m)		構造	改修の 要否	備考
				全幅	有効			

注) 1. 農道整備、農用地造成、干拓及び区画整備の場合 (主要構造物の表も同じ)。  
 2. 「管理区分別」欄は、国道、県道、市町村道、農道の区分別。延長は地区内のみの延長。

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

H 27年 1月現在 (第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	情報 通信業 (人)	運輸業 郵便業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融業 保険業 (人)	教育・ 学習 支援業 (人)	医療・ 福祉 (人)	公務 (人)	その他 (人)
瑞浪市	(19,139) 18,975	(407) 442	(14) 18	(3) 1	(7) 9	(1,281) 1,243	(4,658) 4,642	(67) 55	(205) 192	(859) 795	(3,435) 3,234	(445) 405	(1,045) 1,058	(2,065) 2,361	(514) 539	(4,134) 3,972
計	(15,005) 18,966	(407) 442	(14) 18	(3) 1	(7) 9	(1,281) 1,243	(4,658) 4,642	(67) 55	(205) 192	(859) 795	(3,435) 3,234	(445) 405	(1,045) 1,058	(2,065) 2,361	(514) 539	(4,134) 3,972
比率 (%)	100	(△ 125) 3	0	0	0	(9) 7	(31) 24	0	(1) 1	(6) 4	(23) 17	(3) 2	(7) 6	(14) 12	(3) 3	(28) 21

参考資料：(2010) 2015国勢調査

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

H 26年 2月現在 (第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別経営体数 (経営体)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)				耕地の分散状況		専業別農家数(戸)			備考
		経営 耕地 なし	0.3 ha 未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1	1 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ha 以上	計	田	畑	計	合計	1戸当 団地数	団地当 面積 (ha)	専業	兼業		
																				第1種	第2種	
瑞浪市	(1,399) 1,007	(12) 12	(2) 5	(198) 102	(126) 83	(23) 16	(9) 9	(7) 6	(10) 6	(2) 4	(3) 3	(392) 246	(0.51) 0.64	(0.11) 0.14	(0.62) 0.78	(0.62) 0.78			80	22	275	自給含めず
計	(1,399) 1,007	(12) 12	(2) 5	(198) 102	(126) 83	(23) 16	(9) 9	(7) 6	(10) 6	(2) 4	(3) 3	(392) 246	(0.51) 0.64	(0.11) 0.14	(0.62) 0.78	(0.62) 0.78			80	22	275	
比率 (%)	100	(△28) 5	2	(14) 40	(9) 34	(2) 7	(1) 4	(1) 2	(1) 3	2	1	100	(82) 82	(18) 18	(100) 100	(100) 100			21	6	73	

参考資料：(2010)2020農林業センサス

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

H 26年 2月現在 (第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	田植機		トラクター		コンバイン				乳用牛		役肉牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
瑞浪市	(299) 246	(275) 231	(346) 307	(312) 263	(212) 184	(202) 170			(337) x	(8) 2	(1107) 248	(16) 8	x	(1) 1	(19025) 11,365	(8) 4	
計	(299) 246	(275) 231	(346) 307	(312) 263	(212) 184	(202) 170			-	2	248	8	x	1	11,365	4	
100戸当数量 (台・頭)	(21) 106	(25) 117	(15) 108		(4,213) x	(6,919) 3,100			x		x			(237,813) 284,125			
利用戸数の割合 (%)	(20) 23	(22) 26	(14) 17		0	1		0		0			0				

参考資料：(2010)2015、2020農林業センサス

4. 主要作物作付状況

R 4 年 10 月現在 (第7表-4)

市 町 村 名		瑞浪市								計	平 均	作付率	備 考
総耕地面積 (ha)		859								859	859		
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積当収量 (kg/10a)	(%)									
	田	水 稻	(383)	(530)							(383)	(530)	
336			512							336	512		
麦		-	-							-	-		
そば		-	(50)							-	(50)		
小 計		(383)								(383)			
		336								336			
畑	大 豆	(5)	(118)							(5)	(118)		
		7	59							7	59		
樹園地													
小 計		(5)								(5)			
		7								7			
そ の 他													
計		(388)								(388)			
		343								343			
市町村別延作付率 (%)													

作付面積は、市町村別の面積が掲載されているもののみ記載。  
このため、作付率は算定しない。

参考資料：第(59)67次 東海農林水産統計年報

5. 農業の動向

R 4年 10月現在(第7表-5)

項目 区分	農 家		土 地		主 要 作 物		大 家 畜		動 力 農 機 具		その他	地域指定等	備 考				
	B	A (現在)	B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)				農機具名	B	A (現在)	
変化の状況 C年を100とする指数	総農家数	92	79	耕地	94	92	稲	96	87	乳牛	78	51	動力 田植機	79	64	農振計画 S46.8 特農 H5.9 山振 S46 酪農肉用牛近代化 H24.3	
	専業 農家数	119	125	田	97	96	麦	-	-	肉牛	70	98	乗用型 トラク ター	87	69		
	第1種 兼業 農家数	117	183	畑	82	78	大豆	53	47	豚	-	-	コンバ イン	94	77		
	A H22 第2種 兼業 農家数	72	51							採卵鶏	x	109					
	B H17 C H12 農業 従事者 数	80	63							ブロイ ラー	x	364					
変 化 の 理 由	農業従事者の高齢化や後継者不足により数は減少傾向にある。また従事者の高齢化に伴い専業・第1種兼業農家の割合が増えている。			宅地等への転用により農地面積が減少しつつある。		水稻、大豆ともに農業従事者の減少により収穫量も減少傾向である。		採卵鶏、ブロイラーは企業を中心とした経営体が増加している。		高齢化、後継者不足により農業従事者数が減少していることにより、保有台数も減少している。							

第6節 地域環境の概況

気候は、太平洋気候に属し、冬季の積雪が少なく日本型の温暖多湿であり近年の年平均気温は13℃である。しかし、北部の山間地域は内陸性の気候が強く、夏季冷涼で冬季の寒さは厳しく、土岐川流域の標高100m地域との気温較差が大きい。降水量は、6月から9月にかけて多く、近年の年平均降水量は1,700mm程度である。

一般的な森林形態は、コナラを主体とする落葉広葉樹とアカマツを含む針広混交林で、クロマツ、ゴヨウマツも局地的にみられる。

総面積の約7割が山林地帯であり、緑豊かな森林や農用地、市街地内を流れる土岐川等の河川など豊富な自然環境を有している。特に北部および南部地域の山地、丘陵地では、自然公園や自然環境保全地域、保安林等に指定しており、良好な自然景観を保っている。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要 旨

地区内各所のほ場整備地内に送水する各用水路線において老朽化が進行しており、安定した用水供給への支障、維持管理の増大により、組織営農活動に支障をもたらしている。

このため、頭首工、水路の改修、補修整備を行うことで、農地への安定した用水供給体制を確保するとともに施設の維持管理作業を軽減し、組織的な生産体制の規模拡大を主とした持続的な地域営農への発展を目指す。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農 業 用 用 排 水 施 設 整 備														合計
	水田	普通畑	牧草地	果樹園			小計	水田	普通畑	牧草地	果樹園			小計	
土地 利用 区 分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			(ha)	(ha)
事業目的	(50.1)	(-)					(50.1)								(50.1)
用排水改良	47.6	1.3					48.9								48.9
計	(50.1)	(-)					(50.1)								(50.1)
	47.6	1.3					48.9								48.9

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。

2. 「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

集落営農組織の立ち上げや認定農業者を中心とした農地集積が比較的進んでいる地域であり、主軸となる担い手組織が中心となり、土地利用型農業の規模拡大を進める。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他		小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設整備	現況	(50.1) 47.6	1.3						(50.1) 48.9				(50.1) 48.9	
	計画	(50.1) 47.6	1.3						(50.1) 48.9				(50.1) 48.9	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	(50.1) 47.6	1.3						(50.1) 48.9				(50.1) 48.9	
	計画	(50.1) 47.6	1.3						(50.1) 48.9				(50.1) 48.9	





5. 労働改善計画 該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備考		
				区分	現況	計画	増減			
				人 力						
				機 械 力						
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				

注) 「作物名」欄は「4. 生産計画」に準ずる。(△は減を示す。)

6. 級地別土地利用区分 該当なし

(第9表-5)

土地利用区分		区分	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					備考
		級地名	一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田												
	輪換耕地												
	畑												
	(普通畑)												
	(牧草畑)												
	樹園地												
	(果樹園)												
	(桑園)												
その他													
計													

7. 土地配分計画 該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)							備考
		田	輪換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草地	樹園地			

第3節 用水計画

1. 計画基準年

2. 計画かんがい方式            水田    湛水かんがい  
    輪換畑   畦間かんがい

かんがい期間（水 田）

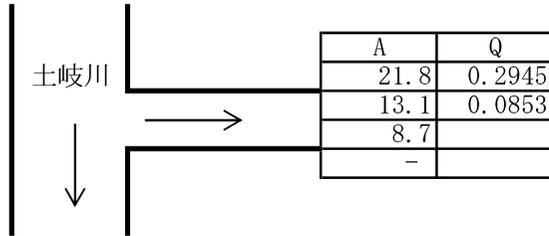
（第10表）

栽培方式	区分	代 掻		用 水 補 給		備 考
	期間	自      ~      至	日 数	自      ~      至	日 数	
特 早 期		~              月	日	~              月	日	
早 期		月 日 ~ 月 日	日	月 日 ~ 月 日	日	
普 通 期		5 月 17 日 ~ 5 月 21 日	1 日	5 月 23 日 ~ 8 月 20 日	90 日	

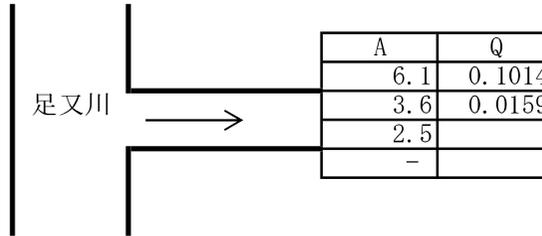
3. 計画用水系統（別紙計画用水系統図参照）

計画用水系統図

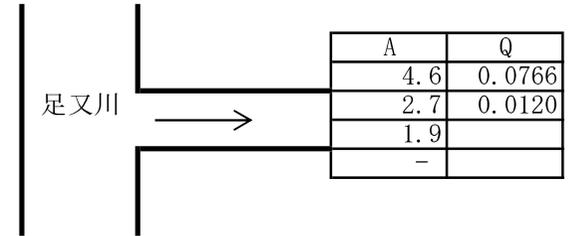
三用水



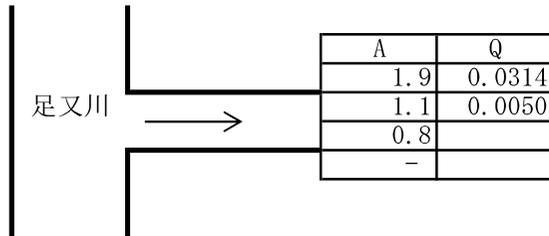
足又用水



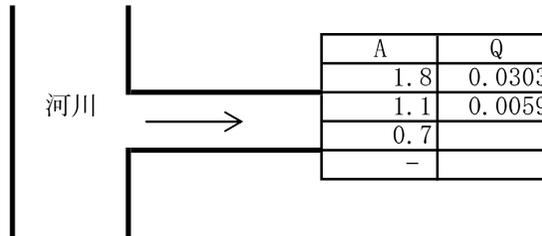
下足又用水



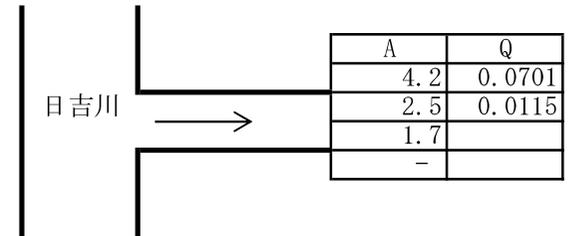
八瀬沢用水



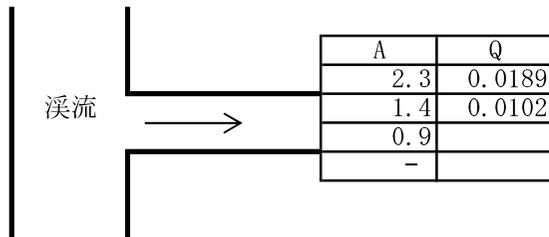
柄石用水



月吉第2号用水



田高戸用水



A:面積 (ha)	Q:用水量 (m <sup>3</sup> /s)
全体	代掻期
水田	普通期
輪換畑	
畑	

4. 計画用水量  
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			畑地かんがい			田畑輪換						消費 水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失 率 (%)	粗用水量		
		事業名			水田			普通畑 (樹園地)			水田かんがい			輪換畑かんがい					普通期 最大 (m <sup>3</sup> /s)	代掻期 最大 (m <sup>3</sup> /s)	
		水田	畑	計	普通期	代掻期	面積 (ha)	1日当 計画平均 かん水量 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	普通期	代掻期	面積 (ha)	1日当 計画平均 かん水量 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)					
					計画 平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計画 代 掻 単 位 用 水 量 (mm/日)					計画 平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計画 代 掻 単 位 用 水 量 (mm/日)									
三用水	農業用水	(21.8) 20.8	(-) 0.3	(21.8) 21.1								27	120	13.1	5	-	8.7	0.2482	15	0.0853	0.2945
足又用水	"	(6.1) 6.2		(6.1) 6.2								17	150	3.6	5	-	2.5	0.0856	15	0.0159	0.1014
下足又用水	"	(4.6) 4.5		(4.6) 4.5								17	150	2.7	5	-	1.9	0.0646	15	0.0120	0.0766
八瀬沢用水	"	(1.9) 2.0		(1.9) 2.0								17	150	1.1	5	-	0.8	0.0265	15	0.0050	0.0314
柄石用水	"	1.8		1.8								22	150	1.1	5	-	0.7	0.0256	15	0.0059	0.0303
月吉2号用水	"	(4.2) 3.6		(4.2) 3.6								18	150	2.5	5	-	1.7	0.0592	15	0.0115	0.0701
田高戸用水	"	2.3		2.3								14	150	1.4	5	-	0.9	0.0159	15	0.0102	0.0189
計		(42.7) 41.2	(-) 0.3	(42.7) 41.5										25.5			17.2	0.5256		0.1458	0.6232

注) 1. 計画平均単位用水量、計画代掻単位用水量は系統別の減水深の荷重平均値、0は最大値。  
2. 計画平均かん水深は畑かん期間の1回当りの平均かん水深を平均間断日数で除した値。

(2) 営農飲雑用水 該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名	計	単位給水量 (L/日)	最大給水量 (L/日)				

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2-1)

項目 区分	消費水量 a (m <sup>3</sup> /s)	有効水量 b (m <sup>3</sup> /s)	純用水量 c=a-b (m <sup>3</sup> /s)	粗用水量 d=c/(1-α) (m <sup>3</sup> /s)	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源種 工種	備考 損失率 : α
					水源名	取水地点 利用 可能量 e (m <sup>3</sup> /s)	ほ場利用 可能量 f (m <sup>3</sup> /s)	純不足 水量 g=c-f (m <sup>3</sup> /s)	全不足 水量 h=d-e (m <sup>3</sup> /s)	水源名	水量 (m <sup>3</sup> /s)		
農業用 用排水	0.2482	-	0.2482	0.2945	土岐川	0.2945	-	-	-		0.2945		15%
	0.0856	-	0.0856	0.1014	足又川	0.1014	-	-	-		0.1014		15%
	0.0646	-	0.0646	0.0766	足又川	0.0766	-	-	-		0.0766		15%
	0.0265	-	0.0265	0.0314	足又川	0.0314	-	-	-		0.0314		15%
	0.0256	-	0.0256	0.0303	溪流	0.0303	-	-	-		0.0303		15%
	0.0592	-	0.0592	0.0701	日吉川	0.0701	-	-	-		0.0701		15%
	0.0159	-	0.0159	0.0189	溪流	0.0189	-	-	-		0.0189		15%
計	0.5256	-	0.5256	0.6232		0.6232	-	-	-		0.6232		

注) 1. 「区分」欄は農業用排水、区画整理、農用地造成等の分類。及び水田補水、畑かん等に細分。  
2. 純用水量、田畑面利用可能量、純不足水量には損失を含まず、全不足水量には水路損失を含む。

(2) 用水対策  
(ア) 貯水池

該当なし

(第10表-3)

項目 取水池名	流域面積		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直 (km <sup>2</sup> )	間 (km <sup>2</sup> )	事業名							
					計					

注) 「利用貯水量」欄はかんがい期間内の貯水池通過水量に有効貯水量を加算したものの。

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)			取水量		渇水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			事業名			最大 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (m <sup>3</sup> /s)		
					計				

注) 1. 「取水施設名」欄は井堰、自然取入の分類。備考欄はその型式。  
2. 「取水量の平均」欄は普通期の平均。「渇水量」欄は計画基準年。

(ウ) 揚水機

該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業名			最大 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (m <sup>3</sup> /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	
				計							

注) 「所要水量の平均」欄は代掻期以外の平均所要水量で、2.4時間に換算したものの。

## (エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	備考
	事業名						
	農業用 用排水		計				
三用水	(21.8) 21.1		(21.8) 21.1	0.2945	(613) 597	(BF1000) 内面補修工	
足又用水	(6.1) 6.2		(6.1) 6.2	0.1014	(1,392) 1,406	BF400~BF300、可変側溝B300、VU150	
下足又用水	(4.6) 4.5		(4.6) 4.5	0.0766	(1,272) 1,168	BF350、BF300、BF250、VU200、U500	
八瀬沢用水	(1.9) 2.0		(1.9) 2.0	0.0314	(807) 807	U600~U300、BF400~BF250、VU200	
柄石用水	1.8		1.8	0.0303	(166) 166	BF350、U350	
月吉2号用水	(4.2) 3.6		(4.2) 3.6	0.0701	(65) 65	(BF600)U350	
田高戸用水	2.3		2.3	0.0189	(559) 560	BF300~BF450、U450、U500	
計	(42.7) 41.5		(42.7) 41.5	0.6232	(4,874) 4,769		

注) 「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路等の分類。

(オ) その他の水源施設 該当なし

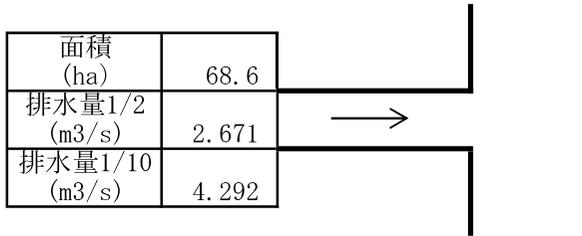
(3) 水温水質 (改良後の状況) 該当なし

## 第4節 排水計画

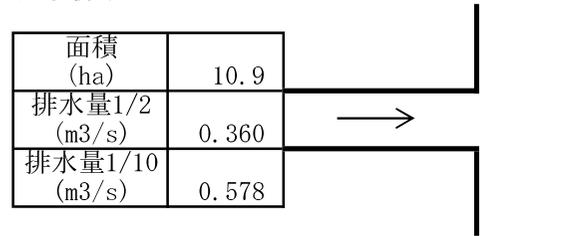
1. 計画基準雨量 恵那観測所記録による確率1/10年雨量 167.6mm
2. 計画排水方式 自然排水
3. 計画排水系統 (別紙計画排水系統図参照)

計画排水系統図

中洞排水



大牧排水



4. 排水量

(第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m³/s/ha)		基底流出量 (m³/s/ha)		全排水量 (m³/s)			単位排水量 (m³/s/ha)	
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	平地		山地	山地	平地
			計								自然排水	機械排水			
中洞排水	(3.3)			64.08	4.54	167.6	0.0646	0.1288			4.140	0.152		0.0646	0.0968
大牧排水	(4.1)			5.08	1.75	167.6	0.0646	0.1288			0.328	0.250		0.0646	0.0968
計	(7.4)			69.2	6.3										
	7.4		7.4												

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (ha)	該当なし 受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業名			排水量 (m³/s)	地区内たんすい深 (m)	名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	
				計						
計										

## (2) 排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
				計							
計											

## (3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
		農業用 排水		計							
中洞排水	68.6	(3.3) 3.1	(-) 0.3	(3.3) 3.4	4.292	(392) 436	U360B				
大牧排水	10.9	(4.1) 3.4	(-) 0.6	(4.1) 4.0	0.578	(384) 379	UU600、U550				
計	79.5	(7.4) 6.5	(-) 0.9	7.4	4.870	(776) 815					

## (4) その他

該当なし

## 6. たん水検討

該当なし



索道		該当なし			(第12表-2)
路線名	項目	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図 該当なし …………… 注) 既設道路との接続関係、計画路線名、幅員の区分。

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画 該当なし

(第13表-1)

地目名	項目	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

注) 1. 「地目」欄は「事業別面積」(第8表)の地目に区分。「主要作物」欄は普通畑を牧草畑、そさい畑に区分。樹園地は樹種名。

2. 「耕地の形態」欄は畑、樹園地についてのみ「改良山成畑」、「山成畑」等の別。

2. 土壤改良 該当なし

(第13表-2)

区分	項目	面積 (ha)	土 壤 統 (区) 名	p H		置 換 酸 度 (Y <sub>1</sub> )	リン酸 吸収係数 (mg/100g)	ha 当 所 要 量			備 考
				H <sub>2</sub> O	KCL			石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地 点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達 時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調 節 量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節後流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の 最大流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	最大調節量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考

3. 貯水池 該当なし

(第14表-2)

項目	流 域 面 積		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯 水 量			計画調整 流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調整 流量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
	直接 (km <sup>2</sup> )	間 接 (hr)		有 効 (千m <sup>3</sup> )	洪水調節容量 (千m <sup>3</sup> )	他 目 的 (千m <sup>3</sup> )			
貯水池名									

- 4. 洪水調節検討
  - (1) 河川改修計画との関係  
該当なし
  - (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響  
該当なし
  - (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討  
該当なし
  
- 5. 管理計画
  - (1) 管理機構  
該当なし
  - (2) ダム管理操作上の各種基準  
該当なし
  - (3) 洪水調節要領  
該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

名称	項目	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状 該当なし

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
計					

(2) 表土扱い 該当なし

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備 考

(3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水 該当なし

(第16表-3)

区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備 考
	項目	事業名	計						
計									

## (2) 心土破碎

該当なし

(第16表-3-2)

区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名					
			計			

## 3. 客土

該当なし

(第16表-4)

区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	減水深 (mm/day)		作土の厚さ (cm)		10a当客土量 (m <sup>3</sup> )	土壌の性質		備考
	事業名				現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地(客土材料) (%)	
			計									
計												

## 4. 農地保全

## (1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

施設名	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

## (2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工 該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

注) 「施設名」欄は主要な施設の名称、「位置」欄は水路名。

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画
  - (1) 計画基準雨量 該当なし
  - (2) 計画洪水量 該当なし
2. 堤体補強計画 該当なし
3. 取水施設改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

(第17表-1)

名称	流域面積 (ha)		位置 堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千/m <sup>3</sup> )	基盤地盤 地質	貯水量 (千/m <sup>3</sup> )		
	型式	直接					間接	総貯水量	有効貯水量
		洪水量 (m <sup>3</sup> /s)					型式		
堤体									
洪水吐	型式	取水施設		型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	型式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)	

2. 頭首工 該当なし

(第17表-2)

名称	型式	堤高 (m)	堤 長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計				

- 注) 1. 「堤高」欄は堤体底面から堤頂までの高さ、下段 () は堤頂標高。  
 2. 「取水位」欄は取水水門直上水位、「取水量」欄は期間最大値。  
 3. 「付帯施設」欄は土砂吐、取水水門 (取水門のみの場合の「堤長」欄は「構造」。)

3. 揚水機 該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (HP)	台数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	支配面積 (ha)		通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	農業用 用排水	計								
三用水	(21.8) 21.1	(21.8) 21.1	0.2945	(613) 597	-	(613) 597	(BF1000) 内面補修工			
足又用水	(6.1) 6.2	(6.1) 6.2	0.1014	(1392) 1,406	-	(1392) 1,406	BF400~BF300、可変側溝B300、VU150			
下足又用水	(4.6) 4.5	(4.6) 4.5	0.0766	(1161) 1,168	(111) -	(1,272) 1,168	BF350、BF300、BF250、VU200、U500			
八瀬沢用水	(1.9) 2.0	(1.9) 2.0	0.0314	757 807	(50) -	(807) 807	U600~U300、BF400~BF250、VU200			
柄石用水	(1.8) 1.8	(1.8) 1.8	0.0303	(166) 166	-	(166) 166	BF350、U350			
月吉2号用水	(4.2) 3.6	(4.2) 3.6	0.0701	(65) 65	-	(65) 65	(BF600)U350			
田高戸用水	(2.3) 2.3	(2.3) 2.3	0.0189	(559) 559	-	(559) 560	BF300~BF450、U450、U500			
計	(42.7) 41.5	(42.7) 41.5	0.6232	(4,713) 4,769	(161) -	(4,874) 4,769				

注) 1. 「通水量」欄は計画通水量、「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路の分類。  
2. 基幹用水路の他、区画整理の中の小用水路も含む。

第2節 排水施設  
1. 排水水門

該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考

注) 1. 「型式」欄はスルース等その機能による分類、「構造」欄はゲート規模、数量。  
2. 「内水位」欄は地区内の水門に接した計画最高水位、「外水位」欄は水門外側の計画最高水位。

2. 排水機

該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (HP)	台数 (台)	

注) 「排水量」・「揚程」欄は計画値、「排水機の型式」欄は軸流、渦巻等の種別、「原動機の型式」欄は電動機、内燃機関の別。

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開きよ	トンネル その他	計				
	農業用 排水		計								
中洞排水	(3.3) 3.4		(3.3) 3.4	4.292	(392) 436	-	(392) 436	(U360B) U型カルハート1000× 1100、NS7リュウキ1000×1000			
大牧排水	(4.1) 4.0		(4.1) 4.0	0.578	(384) 379	-	(384) 379	UU600, U550			
計	(7.4) 7.4		(7.4) 7.4	4.870	(776) 815	-	(776) 815				

注) 1. 「排水量」欄は計画排水量、「構造」欄はブロック・コンクリート柵渠・コンクリートU・V字溝・土水路の分類。

2. 基幹水路の他、区画整理の小排水路も含む。

4. その他排水施設

該当なし



## (2) 道路主要構造物 該当なし

(第19表-2)

路線名	項目	名称	規模	構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

注) 主要構造物は道路の一部で道路としての機能を持つトンネル、橋等。(橋はスパン5m以上)

## 2. 索道 該当なし

(第19表-3)

名称	項目	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
					型 式	動 力 (HP)	

## 第4節 農用地造成

## 1. 農用地造成

## (1) 抜根 該当なし

(第20表-1)

区分	項目	樹 種	樹 径 (cm)	ha 当 本 数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

## (2) 除礫 該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha 当 標 準 除 礫 量 (m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開墾作業 該当なし (第20表-3)

区分		面積 (ha)	工法	備考	
地目	造成工法				

(4) 地目変換 該当なし (第20表-4)

区分		面積 (ha)	工法	備考	

(5) 末端用水路等 該当なし (第20表-5)

区分		数量	規模	構造	備考

(6) 末端排水路等 該当なし (第20表-6)

区分		数量	規模	構造	備考

2. 土壌改良 該当なし (第20表-7)

区分	面積 (ha)	石灰量 (t)	リン酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考

第5節 洪水調節機能

1. 貯水池

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工 該当なし (第21表-2)

名称	位置		長			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	(m)					
			固定部	可動部	計			

## (2) 導水路

該当なし

(第21表-2)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

## 第6節 干拓施設

## 1. 堤防

該当なし

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

## 2. 潮止め

該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

## 3. 付属施設

該当なし

## 4. 埋立

該当なし

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m <sup>3</sup> )	施工方法	備考

第7節 農用地施設整備

1. 区画整理

(1) 区画整理 該当なし

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工 量		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m <sup>3</sup> )	面 積 (ha)	土 量 (m <sup>3</sup> )	

(2) 末端用水路等 該当なし

(第23表-2)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等 該当なし

(第23表-3)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	受益面積 (ha)			集 水 渠				排 水 渠					集水渠出口以下の排水施設			
	事 業 名	計	計	勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造	数 量

(2) 心土破碎 該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考

3. 客土 該当なし

(第23表-5)

区分	項目	面積 (ha)			客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
		事業	業名	計					

4. 除礫 該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考

5. 農地保全  
(1) 防災林 該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路 該当なし

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	構造	備考

(3) 侵食防止工 該当なし

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

(第24表)

名称				位置				
	型式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m <sup>3</sup> )	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備考
堤体								
洪水吐	型式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期 (平成30)  
 着工予定 平成 26 年度 完了予定 令和 3 年度

### 2. 工事の年度割予定

単位：千円

年 度	全 体	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
農業用排水	(219000) 278,058	(43,800) 30,180	(43,800) 21,369	(43,800) 55,335	(43,800) 35,886	(43,800) 28,876	(一) 76,802	(一) 29,610	(一)
割合 (%)	(100) 100	(20) 11	(20) 8	(20) 20	(20) 13	(20) 10	(一) 28	(一) 11	(一)

## 第8章 環境との調和への配慮

### 1. 施工上の配慮

- ・土工実施に伴う下流水域への土砂流出を抑制するため、必要に応じ沈砂池等を設ける。
- ・整備を実施するにあたり、水路内での生物生息が顕著に確認される場合は、必要に応じ近隣の河川、水路等へ避難させる。
- ・法面部分が発生する場合は、適切な緑化を施し、周辺環境との調和を図る。

### 2. 田園環境整備マスタープランの整合性

事業実施に際しては、田園環境整備マスタープランにおける環境配慮の方向性に即して行うものとし、計画段階からマスタープラン内容を反映させ、環境に配慮した事業を行う。

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画の基本的事項 該 当 な し

#### 第2節 換地区の設定

##### 1. 換地区の名称、所在、面積 該 当 な し

(第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)

注) 「換地区の所在」欄は当該換地区の市町村、大字(字、町)。「面積」欄は小数点以下2位を四捨五入。

##### 2. 換地区を設定する理由 該 当 な し

#### 第3節 換地計画樹立の基本方針

##### 1. 従前の土地の地積の基準 該 当 な し

(第25表-2)

換 地 区 名	地 区 積 の 基 準

注) 「地積の基準」欄は、「事業主体、市町村等を行う実測による地積」「土地改良事業に係る計画概要の公告の日の登記簿地積」、「土地改良事業計画決定(認可)の日の登記簿地積」、「国土調査法による地積調査に基づく登記が完了している土地にあっては土地改良事業計画の認可の日の登記簿地積」の別。



3. 農用地集団化の方針 該当なし

(第25表-4)

項目 換地地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地換地の方法 該当なし

(第25表-5)

項目 換地	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m <sup>2</sup> )	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 該当なし
2. 清算の方法 該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画 該当なし

(第25表-6)

項目 換地	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

事業費の総額 (235,200) 千円  
296,606

工事費 (219,000) 千円  
278,058

工雑及び  
地方事務費 (16,200) 千円  
18,548

工 種	事 業 量	事 業 費 (千円)		備 考
農業用排水施設整備	(5,650) 5,584 m			
工 事 費		(191,500) 239,430		
測 量 試 験 費		(27,500) 36,488		
用 地 補 償 費		2,140		
小 計		(219,000) 278,058		
工 事 雑 費		(5,000) 4,424		
地 方 事 務 費		(11,200) 14,124		
合 計		(235,200) 296,606		

第11章 効 用

(第27表)

区分 効果項目	農業用排水施設整備					
	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)
食料の安定供給の確保に関する効果	(30,462) 33,638	(35,742) 36,374				
農業の持続的発展に関する効果	(1,664) 1,811	(1,640) 1,785				
農村の振興に関する効果	(3,241) 3,431	-				
多面的機能の発揮に関する効果	(58) 373	-				
計	(35,425) 39,253	(37,382) 38,159				
総 便 益 額	(707,991) 804,483					
総 費 用 総 便 益	(1.26) 1.30					
総 所 得 償 還 率	(17.3) 19.9					
増 加 所 得 償 還 率	2.7					

第12章 関連する事業

事業名	計画概要	受益面積 (ha)	総事業費 (千円)	工期	前年度進捗率 (%)	本事業との関連性

第13章 現況・計画図面

別紙による